

令和7年度学校評価(年度末評価)

<p>本年度の 重点目標</p>	<p>① 教育目標にある「知性ある社会人、品格ある教養人、気力ある生活人」の育成に向けた教育活動を充実させる。 ② 「文武両道」を基本理念として、学習、学校行事、部活動、ボランティア活動等への主体的な取組を推進する。 ③ 教育課程のさらなる充実を図るとともに、今の大学入試制度に対応した進路指導体制を整え、第一希望進路の実現を目指した指導を充実させる。 ④ 自他の命を大切に、よりよい社会を実現しようとする態度を養うとともに、健康や安全、防災にかかる意識の向上を図り、将来にわたって健康かつ安全に生活するための知識や態度を養う。 ⑤ 男女共同の社会参画を目指し、社会の一員として個性や能力を發揮できる意欲や態度を養う。 ⑥ 生徒1人1台端末を活用したICT教育の充実を目指し、情報モラル等規範意識の確立を図り、望ましい社会性と公正さを重んじる心を養う。 ⑦ PTA、同窓会、地域との連携を図り、さらなる情報発信に努め、開かれた学校づくりを推進する ⑧ 事務処理の効率化、年次休暇取得の推進など、多忙化防止への取組を推進し、職員の健康の保持増進や働き方改革を推進する。</p>	<p>B</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昨年度の反省から学校ホームページを積極的に活用し、保護者等の方に日頃の生徒の取組を発信することができた。次年度以降もあんしんメールと併用して情報を適切に発信していき、開かれた学校づくりを推進していく。 ・学校評価アンケートの結果から、大半の質問項目が概ね達成されている状況であることが確認できた。生徒からは部活動や学校行事の充実への要望が多く、保護者からは学習面や進路面の充実の要望が多い傾向にあった。文武両道の理念が達成できるようにバランスを取り、生徒にとって安全かつ安心に過ごせる教育環境の整備に努めていく必要がある。 ・昨今の教員の多忙化へも配慮し、仕事の分業・共有を図りながら職務に当たれるよう引き続き風通しの良い職場環境を保っていく。「愛知県公立学校働き方改革ロードマップ」に基づき、特に情報機器に関わる業務の負担が集中しないよう負担軽減や情報共有を行い、生徒の学習環境の向上や職場の事務処理の効率化を図っていく。 			
項目(担当)	重点目標	具体的方策	留意事項	評価	課題
<p>勤務時間の適正な管理及び長時間労働による健康障害防止(管理職)</p>	<p>在校時間等調査の活用による健康管理 職員の健康障害防止のための環境整備</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・在校時間等の状況記録を活用し、業務の適正配分に留意するとともに、教職員の良好なメンタルヘルスの保持に努める。 ・教職員の年次休暇の計画的な使用を促すための環境を整備する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・在校時間等の調査記録が1か月80時間を超える教職員については、面接指導調査の希望の有無や健康状態の確認を行う。また、退校時間を一定に定め、校舎の施錠時間を徹底する。 ・年次休暇の計画的取得はもちろん、普段の声かけ等を通して健康状態の把握に努め、必要などにき休暇を取得しやすい雰囲気をつくる。 	<p>B</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・特定の職員に業務が集中する傾向があるため、業務の適正な配分や会議内容の精選等の改善が継続して必要である。 ・課題テストを精選し、4月実課調査や9月実力テスト(3年)の廃止、またカリキュラム変更の際に、週当たりの授業時数31単位を堅持した。在校時間は昨年度より大幅に減少し、職員の健康障害防止に努めることができた。次年度に向けて、定時退校日やノー部活デーの適正化、年次休暇取得の促進等に引き続き努めていきたい。
<p>地域連携(総務部)</p>	<p>校内施設・備品等の整備 PTA・同窓会・地域との連携 防災対策の充実 学校ホームページの安定更新</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・校内施設の整備に前年度の内容を反映 ・PTA活動の活性化と教職員との連携強化 ・委員会活動を通じた防災意識向上の推進 ・学校ホームページ業務の整理 	<ul style="list-style-type: none"> ・修理も含めて、老朽化した物品や施設等の整備を行う。 ・保護者へ積極的に情報を発信し、PTA活動の円滑な運営を補助する。 ・防災意識向上のため、防災・減災委員会を定期開催する。 ・学校ホームページ更新業務の洗い出しとその取りまとめを、年度当初に実施する。 	<p>B</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も備品等の設備の充実に向けて、庶務部とも連携しながら設備の更新と修繕に努めていく。特に来年度は、備品の仕組みも変わるため、各所と十分に調整をする。また、引き続き、机・椅子・ロッカーなどの教室の整備も進めていく。 ・PTA役員、委員、保護者等の皆様に協力していただき、各種行事を円滑に運営することができた。引き続き、改善点を積極的に反映するようにし、より良いPTA活動の仕組みを次年度へ引継いでいく。 ・防災・減災委員会の活動をより活発にしていく必要がある。また、防災避難訓練の形態は、今後も議論していきたい。 ・ホームページの新たな運用は夏季休業後になった。今後、年間を通じた更新を各所へ依頼していく必要がある。
<p>学習指導(教務部)</p>	<p>あいちラーニング推進事業を通じ、学習活動のより一層の活性化を図る</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・観点別評価の中でも、「主体的に学習に取り組む態度」について、各教科の見方・考え方を働かせた深い学びから、評価の方法を模索していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・旭野高校生に適した評価方法を模索することを意識する。 ・講師を招き、探究的な学びについての講演会を開く。 ・職員への啓発の一環として、専門家を招きA Iの教育活動への活用法を周知する。 	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・2年間のあいちラーニング推進事業において、6名の研究授業を通して「主体的に学習に取り組む態度」を育む授業の在り方を模索することができた。今後は、各教科で「主体的に学習に取り組む態度」の評価の具体的な改善を促したい。 ・年間3回、外部からの講師による研修を受け、評価の在り方や探究的な学習への理解が深まったので、次年度以降も教育活動の充実を図っていきたい。
<p>進路指導(進路指導部)</p>	<p>第一志望校現役合格のための「進路指導体制」の充実</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学力伸長の体制づくり ・学力の正確な把握 ・進路情報の提供と共有 	<ul style="list-style-type: none"> ・進路LT・補習を充実させる。 ・校外模試の分析の活用を図る。 ・各学年において必要な進路情報の収集と提供・共有。 	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・進路LTについては、今年は新しく公立大学の外国人の学長に講演をいただいた。これからも色々な内容で進めていけるよう工夫ができるとよい。また、総合的な探究の時間の見直しに伴い、どのようにしていくのか考える必要がある。 ・補習については、働き方改革とのバランスがこれから肝要になる。開講数が減少しているのは課題である。 ・校外模試については、今年度は1学年と2学年でそれぞれ一つずつ増やして実施した。効果と弊害をよく検証して、次年度に同様に行うか、反省を踏まえて今後決定していく予定である。 ・今年度から共通テストがWeb出願となり、準備を入念にきたおかげで特にトラブルなく進めることができた。今後は模試もDX化が進む。様々な面で情報の取扱に注意しながら、全職員が滞りなく利用していけるようにしていきたい。
<p>生徒指導(生徒指導部)</p>	<p>基本的な生活習慣の確立 規範意識・モラル・マナーの向上</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・遅刻防止指導、交通安全指導 ・服装、身だしなみの指導 ・挨拶の励行 ・情報モラルの教育 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校生活のみならず、社会生活を営む上で必要な基本的な生活習慣を身に付けさせる。 ・情報モラルに関する知識を身に付けさせ、危機管理能力の向上を図る。 ・いじめの情報を全教職員で共有し、学校全体の問題として事案に対処する。 	<p>B</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な生活習慣において「時間を守る」ことについては、毎朝登校指導を行い8時20分登校の徹底に努めた。時間ぎりぎりや8時20分以降に登校する生徒も増えており、交通安全の観点からも時間に余裕のある行動に努めさせたい。また、体調不良による遅刻も増加しており、指導の難しさを感じている。 ・情報モラルについては4月に1年生対象に情報モラル・セキュリティ講座を開講しているが、必要に応じてその都度行っていきたい。また、校内でのスマートフォンの不適切利用(ゲームや歩きスマホ)が多くみられた。適切な利用方法についても指導をしていきたい。 ・11月にいじめについてのアンケートを行い、情報の共有を図ることができた。今年度はロイロノートによる入力でアンケートを行ったが、入力ミスや未入力が多かったため、来年度は紙によるアンケートに戻すことにした。
<p>生徒指導(生徒会部)</p>	<p>学校祭の充実</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・企画時の適切な情報発信 ・HR、部活動との連携の強化 ・委員会活動の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒が主体となってつくる充実した学校祭となるように、情報発信の内容を検討し、適切なタイミングで発信するように努める。教員間や生徒との共通理解を得るべく、積極的に情報交換を行い、改善に努める。 	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・球技大会、体育祭では全館開放やテント設営による暑熱対策等は多くの教職員の協力もあり、問題なく実施できた。 ・行事に関して毎年、生徒と相談しながら少しずつ変化を加えて良い方向へ動いていると思う。教員全体で情報共有をして、より協力体制を整えていきたい。 ・来年度、中学生を呼ぶ準備を今年度中に可能なかぎり共有したい。
<p>読書指導(図書部)</p>	<p>図書館利用の促進</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・読書推進活動の充実 ・図書委員会の活性化 	<ul style="list-style-type: none"> ・教科や学年とも連携を図りながら、生徒への読書指導及び図書館利用の働きかけを積極的に行う。 ・図書委員が主体的に活動できるように支援する。 	<p>B</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・来館者数・貸出冊数ともに例年並みであった。ジャンルとしては小説が多いが、社会科学・自然科学系の新書などもよく借りられた。図書委員はそれぞれの役割に責任をもって取り組み、活発に活動したほか、有志生徒による図書館活動への参加もあった。また、今年度は1年国語の授業で、図書館の活用の仕方、新書に触れる取組などを行ったほか、1・3年の総合的な探究の時間においても図書館を利用した活動を行うことができた。しかし、利用者の多くは常連であり、授業やLTでの図書館利用もまだまだ少ない状況である。次年度も引き続き生徒の読書意欲の喚起及び図書館活動の活性化に努めたい。特に授業での図書館活用については、教科や学年とも連携を図り、3年間を見通した系統だった取組を考えていきたい。
<p>保健・安全・美化指導(保健部)</p>	<p>心身の健康と安全な学習環境の構築</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・健康診断と保健指導の充実 ・安全な環境衛生の維持・改善 ・心身の健康管理の支援の深化 	<ul style="list-style-type: none"> ・健康診断の結果を生かし、適切な健康管理を行う。 ・迅速に情報を収集し、個々に適した保健指導を行う。 ・ごみの持ち帰り・分別の徹底を図り、校内美化の徹底を目指して学習環境を整える。 ・安全点検を毎月実施し、危険箇所の早期発見と修繕に努め、安全な環境をつくる。 ・ケース相談会を実施し、情報の共有・早期対応に努める。 	<p>B</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・養護教諭を中心に文化祭企画の実施や保健だよりの発行を通して「骨の健康」の重要性について様々な面からアプローチを行い、生徒や保護者の骨の健康に関する意識向上に取り組んだ。 ・ゴミの回収方法の問題点を改善したことで、効率的に回収することができた。また、環境美化委員が中心となってワックスがけを行ったり、学校周辺の清掃活動をするなどして美化活動に努めた。 ・庶務部と連携しながら、安全点検で指摘された危険箇所に早期に対応できた。校舎の老朽化もあるため、今後も安全点検の重要性を認識し、取り組んでいきたい。 ・相談室だよりをメール配信にしたことで、保護者が確実に情報を受け取れるようになった。またメンタルヘルスに関する支援情報やスクールカウンセラーの来校日など、重要な情報を適宜提供できた。
<p>生徒指導(1年)</p>	<p>活力ある高校生活の実現</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・挨拶の励行と環境美化意識の育成 ・学習習慣を定着させる学習指導の実践 ・個人面談の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・部活動や学校行事等への積極的な参加を促す。 ・自己の適性や興味関心を探らせ、学習意欲を喚起する。 ・養護教諭等との連絡を密にする。 	<p>B</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・多くの生徒が挨拶や清掃に意欲的に取り組んでいるが、制服などの着こなしや身だしなみに緩みもみられる。学習や探究活動においても、生徒一人ひとりが自己と向き合い、努力を重ねている。今後は、主体性をさらに引き出し、生徒の諸活動を深化させていきたい。 ・次年度以降も精神的な理由で欠席数が増えている生徒や課題提出ができない生徒に対しては教員間の連携を密にとり、学年全体で対応していきたい。
<p>生徒指導(2年)</p>	<p>自主性から主体性へ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・意欲的な学習習慣の育成 ・学校行事などへの積極的な参加 ・好ましい社会性の育成 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業や課題を最大限に活用し、基礎学力の定着を図る。 ・計画を立てて自ら学ぶ姿勢と家庭学習の習慣を付けさせる。 ・行事などを通して、社会性を身に付けさせる。 ・品格ある行動を意識させる。 	<p>B</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・全体としての学校行事や部活動への取組は大変よく、その中で成長できたと感じる。特に、修学旅行では事前学習から事後学習まで前向きに取り組むことができた。学習面でも真剣に取り組むことが継続できていると感じている。一部の生徒ではあるが、8時20分以降に登校したり提出物が期限内に間に合わなかったりという現状がある。学年団の全教員が声掛けを継続していくことで改善を図りたい。
<p>生徒指導(3年)</p>	<p>個に応じた進路指導</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・受験に対応した学力の育成 ・生徒理解・適切な対応 ・行事参加と受験への切り替え 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業や補習などを最大限に活用し、受験に対応できる学力の伸長を図る。 ・生徒に応じた進路指導を通して、進路実現を図る。 ・主体的に学習できる力を育成する ・3年生としてふさわしいリーダーシップを發揮させ、主体的な行動を促す。 ・受験への切替をしっかりとさせる。 	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・多くの生徒が部活動を最後までやり切ることで、後輩たちに文武両道の範を示した。 ・主体的に行事に取り組む、責任感をもって役割分担することで、3年間の集大成として素晴らしい発表をすることができた。 ・受験への切替も、しっかりできた。ライジングサンや補習への取組もよく、早くから学習時間の確保ができることで、焦らずじっくりと自己研鑽に努めることができた。 ・多くの教員のきめ細やかで、粘り強い指導により、多くの生徒が個々に応じた進路決定をすることができた。
<p>学校関係者評価を実施する主な評価項目</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学習指導の充実について 	<ul style="list-style-type: none"> ・進路指導の充実について 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒指導の充実について 		

【評価基準】 A：十分達成(満足)している B：ある程度達成(満足)している C：どちらともいえない D：あまり達成(満足)していない E：まったく(満足)達成していない